

バス・ト・ス週報

第七六八号
昭和十九年
十二月廿五日
發行

DIRETOR
KOITIMORI
REDATOR
SHION ODA
RUA PRES.
VARGAS 188
C. P. 112
BASTOS
C. P.
ANUAL
1905 ano
CR. \$
DE NIEZ de MAIO
2.500,-

逸球

51

万難を排す

どんな仕事でも事業でも始めからスムーズに行くものは少からう。こんどバスムツで日本語の学校を開設することになつたことについて世話を人の末席に坐つて感じたことを二、三述べて見たいと思う。日語学校というから校長さんの如きは勿論日本語が達者で読み書きも抜群だろうと思つていたら、校長の資格は伯国高校卒以上であれば資格者ときて、いささか意外な感がした。公認校といふのは、まず設備が完備していなければならず、校舎以上であれば資格者ときて、いささか思つていいと、校長の資格は伯国高校くらいの教室が三つ以上とか、便所は10mくらいのホーリーが三つ以上とか、便所は水洗式とか、そういう設備がとくのつていいないと許可にならぬ。そういう規定があるが、公認教師といふのは、ごく少く多くの人が思ひちがいをして房たようである。教師となると正式に免状を取得してゐる者が、公認教師となるのは、近日本から来た高校以上の人があつてもうれぬと教師が足らぬ現状である。こんなとバストスで日語校開設にあたつても校舎の点で行き当つてある。当分中区会館の板屋を仮校舎とせねばならぬさらにもむかしい問題は生徒の数であつたつて、係りの調べでは百人程度とも云われていたが、去る十五日開校式に集まり、マトリックラした生徒は、前に区長さん午前、午後、夜の三部に分けるとしてあるが、これだけの生徒を一度に収容するわけにいかぬので、一日を當底二人の教師では手まわりかねる、然して二月迄の夏休み期間以後もこの生徒数が続か否か不明だが、半減するところは、経済がもたない、経営のむつかしさは、ここにも大きく網をひろひる如く待つているのである。

父兄の方がこういう点でさぞ不満であるうと思うが、レール工事ができただばかり、試運転の車が恙なく走り出すためにか

Sapataria Bastos

FONE 55



わか化粧品は
コロニアの女性に
わかもと 製薬株式会社
わか美容 化学研究所
C.P.
3656
S. Paulo

お正月には リューツとした
お靴を、御主人も奥さんも
お子達もみんな、おそろいで



年末年始のプレゼント
贈って喜ばれ貰つて嬉しい
香水
石けん
ロートリーンゼント
クリーム
わかもと化粧品
其他薬品に
いろいろ
ございます



みなさん
よい年をお取り下さ

丸山洋服店

○ キリストは救世主である。この言葉は大変わかりやすく、しかも同感できる。言葉であるが、キリストは神さまであるといふことは、必ずしも受けがたくなる。キリスト教では三位一体説があり、神は一つ、み位は三つ、即ち父と子となるといふことになると信仰の問題で、信心する以外には、すなあに受けがたくなる。キリスト教では三位一体説があり、神は一つ、み位は三つ、即ち父と子となるといふことにならぬと信かなければならぬ。アヌム、イヘによつて犯された原罪を取り除くため、神はその一人兒を地上にお降だしになつて、人間自身その罪を痛悔する者へ天国の道を約束された。聖靈。アヌム、イヘによつて犯された原罪を取り除くため、神はその一人兒を地上にお降だしになつて、人間自身その罪を痛悔する者へ天国の道を約束された。聖靈と共に三位一体の神として崇拜され

ナタール雑感

かれへちま

100

系音

保の者は目を白黒させているのであるから、しはうく目をつぶつていただきたい。子供の日語勉強が進まないといつて、かんしゃくを起してやめてしまつては、何のことか分らぬ。かたつむりの歩みが遅々として、もどかしいようでも彼うは必ず目的地へ達せてしまつて居ない。進み方のおそいことは必ずしも失望するに当らない。中途でなげ出して日語五学びそこなう事の方がいかはかり恐ろしいか。父兄の方はつとめて激励するよう御協力をねがいしたい。十六日に授業を始めても、当始は何かと混雜すると思われるが、日を経れば次第に秩序も整つてくると、早くも「あんな老人たちに何ができるものか」と冷笑する人もある相である。日伯文化協会の尽力で日語開校の機運を作つてもうい、運営は、文協から四名、父兄会から八名、合計十二名が当ることとなり、バストス日語普及会とのろこと援会なども設けることになつてゐる。十二名のメンバーの中には、私の如きが老人といふわけではないから御安心願いたい。妙なもので老人には老人向きの仕事があり、日語校推進の一端に参加したことになつていろ。その外に父兄会とか後援会なども設けることになつていて、皆が老人といふた通り何事も出發早々から十分な成果は望みがたいものである。バストス中の方々全部の熱心な御協力によって万難を排して目的に向つて進みたいたとて決して足手まいにはなるまいと思ふ。(十二月十五日)

卒業と進級寫真

若き日の想い出

ナタール や

お正月は一家団欒で

とてもきれいにうつる

Foto Shima moto
電話 63
アオト 島本

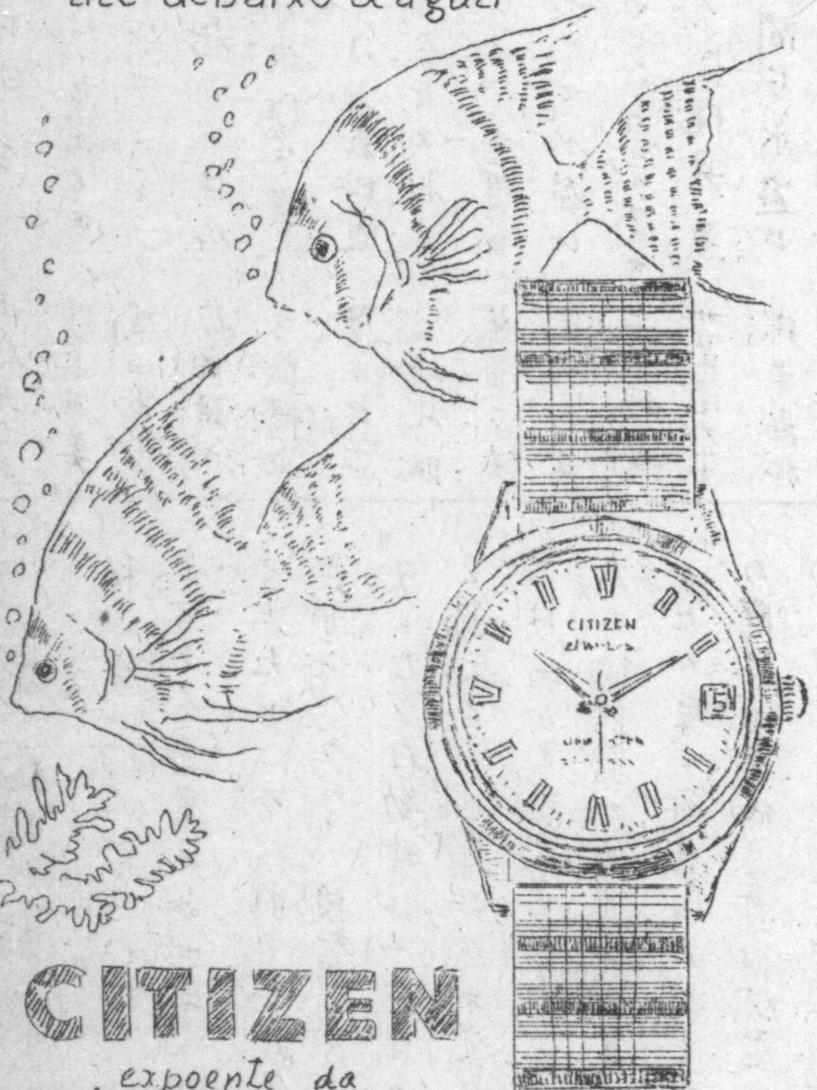


鳥本美容院
Foto Shima moto
電話 63
アオト 島本

Rua DOQUE de CAXIAS

3 所以である。
もとより神には姿というものがなく、だから、かりに人間の姿をして地上に未だから給うたといふ次第だ。身だとも似合う
4 が、従つてキリストとは兄弟分であると自称していふ。ラムにも明記してないらしい。
5 私も基督教の貪りい一員だが渡伯以来
6 ザメントの式又は葬式位には教会に行く力
7 が、自らの信仰に燃えて出かけたことは
8 これき他人に証明する力はない。
9 も同然だが、キリストを神の子であると自称していふが、キリスト教徒はモハメントも同然だ。
10 とこころが回々教の創始者マホメットも
11 、吾れは神の子であると自称していふが、
12 が、いつ盃をとり交わしたかはココラムに
13 が、従つてキリストとは兄弟分であると
14 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
15 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
16 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
17 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
18 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
19 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
20 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
21 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
22 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
23 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
24 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
25 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
26 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
27 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
28 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
29 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
30 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
31 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
32 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
33 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
34 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
35 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
36 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
37 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
38 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
39 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
40 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
41 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
42 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
43 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
44 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
45 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
46 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
47 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
48 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
49 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
50 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
51 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
52 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
53 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
54 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
55 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
56 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
57 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
58 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
59 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
60 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
61 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
62 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
63 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
64 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
65 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
66 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
67 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
68 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
69 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
70 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
71 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
72 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
73 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
74 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
75 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
76 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
77 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
78 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
79 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
80 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
81 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
82 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
83 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
84 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
85 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
86 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
87 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
88 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
89 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
90 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
91 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
92 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
93 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
94 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
95 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
96 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
97 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
98 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
99 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
100 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
101 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
102 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
103 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
104 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
105 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
106 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
107 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
108 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
109 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
110 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
111 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
112 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
113 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
114 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
115 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
116 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
117 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
118 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
119 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
120 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
121 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
122 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
123 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
124 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
125 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
126 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
127 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
128 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
129 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
130 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
131 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
132 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
133 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
134 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
135 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
136 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
137 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
138 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
139 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
140 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
141 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
142 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
143 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
144 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
145 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
146 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
147 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
148 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
149 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
150 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
151 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
152 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
153 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
154 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
155 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
156 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
157 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
158 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
159 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
160 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
161 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
162 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
163 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
164 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
165 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
166 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
167 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
168 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
169 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
170 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
171 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
172 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
173 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
174 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
175 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
176 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
177 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
178 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
179 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
180 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
181 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
182 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
183 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
184 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
185 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
186 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
187 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
188 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
189 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
190 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
191 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
192 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
193 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
194 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
195 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
196 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
197 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
198 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
199 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
200 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
201 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
202 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
203 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
204 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
205 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
206 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
207 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
208 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
209 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
210 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
211 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
212 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
213 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
214 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
215 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
216 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
217 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
218 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
219 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
220 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
221 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
222 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
223 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
224 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
225 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
226 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
227 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
228 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
229 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
230 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
231 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
232 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
233 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
234 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
235 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
236 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
237 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
238 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
239 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
240 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
241 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
242 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
243 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
244 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
245 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
246 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
247 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
248 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
249 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
250 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
251 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
252 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
253 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
254 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
255 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
256 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
257 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
258 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
259 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
260 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
261 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
262 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
263 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
264 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
265 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
266 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
267 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
268 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
269 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
270 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
271 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
272 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
273 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
274 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
275 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
276 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
277 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
278 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
279 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
280 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
281 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
282 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
283 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
284 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
285 が、身だとも似えていふ。信じてはいるが、
286 が、身だとも似えていふ。信じてはいる

*Qualidade
Comprovada*
até debaixo d'água



CITIZEN

expõente da
relojoaria do Japão
REPRESENTANTE EXCLUSIVO

Yendo S.A.

Rua Galvão Bueno 212 7º and. C. POSTAL 2878
FONE: 33-3573 e 34-0624 São Paulo

シチズン

自動巻き
アウトドア

水につよく 泥人こにつよく
ショッキにつよい／＼／＼

新型発売

高田時計店
バストスでは
柴田時計店

日本製で天下も世界一一流の時計

○、神さまを生んだのはマリヤさまである。聖母マリヤ、生神女マリヤといつて尊敬され、カトリックではノンサセニヨーラテバレシーと称し、本尊キリストより一枚上のような扱いである。現代の奇蹟として、あちこちで奇跡な人が山中や洞穴で拝むのは大ていマリヤ様のイメージである。カトリックでそれほどに大切に評価されていないと思われるが、どうして聖靈によつて、みごもるといふことは現代的科学では承認されないだろう。マリヤさまの夫であるジヨゼフがキリストの父であると系図には出ているが、いままだ聖書には記してある。ことにマリヤさんはキリストを生んだのち、二人位弟を生んでいる。私はそれが事実か否か知らぬが、

○、神さまを最大の祝日としているが、日本などの仏教国でも大都市となるとクリスマス風景というものは大したもののようにある。クリストが神様ではないクリスマスツリーを飾り、鐘を鳴らして景色をつけければクリスマス気分は充分に出来る。バハには醉客がタンスを樂しむ。

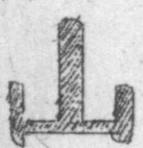
○、神様だから、どんなことでもできる。巧をきわめた組織を創ったのは神様で、理論整然たる生理上の運行を御示しにして多くの信者を獲得している。神様は地獄行である。まあ、そんな六かしいことはやめよう。どちらにしたってキリストはマリアさまが生んだ赤子にちがいない。そして利害な少年として成長し、死に至る迺である。

○、その偉大な宗教家、眞の神を世に教え神の国に行く道を平易な言葉で民衆に説教して何万人の悩める魂を生前に救い、その死後何十億から人美に今も救の道を示した神人の降誕日ナタールになろと私は裸を正して祝意を表するのである。

○、歐米ではナタールを最大の祝日としているが、日本などの仏教国でも大都市となるとクリスマス風景というものは大したもののようにある。クリストが神様ではないクリスマスツリーを飾り、鐘を鳴らして景色をつけければクリスマス気分は充分に出来る。バハには醉客がタンスを樂しむ。

○、他の書物でみたことがある。やはり此の問題も信仰の範囲の中で处理されるべきもので、理窟では到底割り切られるものではない。キリストは、嵐の海上を一人で歩いたり、病人をかへた人に治したり、とても常人は思ひも及ばぬ救多々の奇蹟を行ひ、それによつて多くの信者を獲得している。神様だから、どんなことでもできる。されまでたが、人间のからだの精神性はそれまでたが、人间のからだの精神をきわめた組織を創ったのは神様で、学者のいいぶんだけは地獄行である。それだから学者と金科持は地獄行である。まあ、そんな六かしいことはやめよう。どちらにしたってキリストはマリアさまが生んだ赤子にちがいない。そして利害な少年として成長し、死に至る迺である。

卷之三



A decorative element at the top of the page, featuring a stylized, symmetrical design with curved lines and small circular motifs.



FONE. 22

Casa Maeyama



milkiss

日本の味・初恋の味

三
ル
ナ
ス

こんなうまいのみ

あすまきりんの東山が自慢の新発声
あいしくて風味がよくて栄養第一

お年寄りも召し上

54

特にアンタルチカ印は善

ビル

ナタールとお正月はこの二拍子で祝いましょう

その他お歳暮用品いろいろ

の足が現実に大地を踏んまだものでない限り、かかる肩書きがあろうとも、立派な宗教家だと云おうとも、眞理の迷いを抜き去らんと汲々するとも、要するにそれを利用して自己安全を圖つてゐるに過ぎない。誠に心もとない次第だ。

中にはひたすら眞実を求める人獨的なる道一途に打込む人もあろうが、多くの人は、そこ迄打込人は居らず、交際上の体裁というところであろう。

○誠に人生は斗争である。現世は生き残り人がたつの戦場である。そのためには他人を蹴落さねばならぬ。店は火の車の状態でも名譽破から肩書きほしさにどこへでも首を突込む馬鹿たれも居るし、悲壯なものである。

又他人や他家のあら探しに貴重な時間を割いて得々としている者が世間にはウンサと居る。女は口が軽いといふが、こういう点では女性はカリをきめつけるわけにはいかない。惚れたはれたの噂話から他家の経済推定など詳細にゆられると、し視野を大きく広く持ちたいものだ。

○先日ある場所で一老人がこんな事を云つた。中央公論などをアラジルで読んで何の役に立つか、確はこんな本まで作りのましい頭を(顔)一層しかめて時

きするるまことに方をした。老い衰え
頬い人だが薬毒なものだ。
のその心もわれものの中公論に一寸
面白いことをつてはいるのでのをみてみ
ましよう。
「半蔵の闇に世相が變つた。醜の御道と
立つわれね、大君の辺にこそ死なめ、か
えり見はせむ」。其者たちは花と散つた
が、生きのこつた者は闇屋となる（中裏）
人間が變つたのではない。人間は元来そ
ういうものあり、變つたのは世相の上皮
だけの二きだ。

徳川幕府の思想は、四十七士を殺すこ
とによつて永遠の義士たりしめようどし
たのだが、四十七士の墮落のみは防ぎ得
たとした所で人間自身が常に義士から凡
俗へ、又地獄へ転落しつづけていろ事を
防が得るよしなさい」

「節婦は二夫に見えず、忠臣は二君に仕
えずと規約を制定して見ても、人間の転
落は防き得ず。处女を刺し殺してその純
潔を保たしめることに成功しても、墮落
の平成な聲音、ただ打ち寄せる波のよう
なその当然の聲音に気付く時、人為の卑
小さ、人為によつて保ち得た处女の純潔
過ぎないを見出さずには居られない。
拙者も右の所論を全面的に受け入れるわ
けではないが、要するに現相の矛盾を超

えて悟りの境地に没入したとしても、それはその人だけのことで、形の変わった個人主義的な卑怯な人間とも云えろわけで此の辺の解釈は個々の思考に任かすが無難でしょう。

○人間は凡俗でよし、赤裸々にぶつかり合い、ぶつけ合つて朗らかにつき合つてこそ隣保愛、相互扶助の実を結ぶもので、己れだけが悟入の境地に位すると言ふとまた見た所で詮ない話ではないだらうか。拙者元末馬鹿に生れついているので、偽りの多い現実の社会を見るに腹が立つてたまらんのだが、しかし考え方同じくする所謂同志と云う存在もある。気の合つた者同志が助け合い、励まし合い一つ向上の一途を辿る美しい姿である。

A V I S O

AULAS PARTICULARES CURSO DE ADMISSÃO. PERÍODO 15 DE JANEIRO A 15 DE FEVEREIRO, HÓRARIO - 7½ ÀS 9½, A CARGO DOS PROFESSORAS ETNA NUTI MOLINA E FUSSA OKAMURA. O CURSO FUNCIONARÁ NO COLEGIO S.JOSÉ.

AULAS PARTICULARES DE PORTUGUÊS PARA GINÁSIO, PERÍODO 15 DE JANEIRO A 15 DE FEVEREIRO, TRATAR COM A PROFESSORA D. ETNA NUTI MOLINA.

A B I N G

中学入学試験準備のため、一月十五日より二月十五日まで、サンジョ中学校に於て予備校を開きます。時間は七時半より九時半まで担当婦人教師はエトナ・ヌチ・エリーナ及岡村フサ

ジナジオ程度のポルツゲースをペルナ・クライルに教えます。やはリ一月十五日より二月十五日迄担当はドナ・エトナ・ヌチ・エリーナ先生

派米苗学生の記事訂正

去る十二月十一日の本紙七六六号かれへちま欄で、派米苗学生の提灯を持った旅費は組合でもつてくれるので大変好條件だ」という一節だ。

組合が何千ドルかのチツコロを發行しあちらに到着すると、すぐ農業の仕事をにかかる。給料は時間制で一時間一ドル、一日十時間働く由で、旅費を貸してくれた銀行へ、少々先返済することになつて、北米十二州旅行は約四十日で、

れも三ヶ月はあやまり。この旅費なんかも偽った金で充当する。何しろ一日十ドル（一泊貸すと、ハントに当りかかる、この辺の日雇とはケタがちがう）十二州旅行は東海岸ニースだ相である。一日十時間の労働に堪える体力も必要だ堅忍不拔の精神力も必要とのこと。ニースだ相である。ため伯国に居る間一日某日実地講習とやつて、本番の時へこたれない様ケイコをする由。実習生が自分たちの腕で働きさせさせられた金で、実地勉強をしてくるわけで、小遣いも百ドル以上持參を禁じていふ。以上の通り訂正いたします

八札

バストス柔道道場（元古賀ミネ）館の木造家屋一棟

幅拾米×奥行式拾五米
高さ五米 床板張 瓦葺

柱一五サンチ×一五
梁・桁一五メートル

入札期日 一月十六日（土曜）

場所 同道場

詳細は左記に御問合せ下さい

前山義雄
阿橋智雄
杉底新
藤井

死 亡 通 知 並 に 会 葬 御 礼

7

義母市川イト儀予ねて病氣療養中のところ薬石効なく去る十二月七日午前六時半六十三歳を一期として永眠致しました。翌八日午前八時カソブシ区の自宅出棺ビラマリヤーナ墓地に埋葬致しました。此儀生前御交際を頂きました方々に御知らせ申上げます。
追つて葬儀当日は御遠路遙々御会葬を賜り或いは御丁重な御香料など御恩送下され誠にありがとうございました。長女夫次女夫長女夫長男四女三女二女夫兄弟妹親戚代表父様

一九六四年十二月十日

聖市

松前前松山本

柏

市前

川山

本

貞義実戊花延智誠郁良礼悦君誠

雄雄 雄 市子裕子子ニ子代治

知人友人各 位

ブランク製糸株式会社
バストスエ場 様

眞木諭吉氏の

訪日通信 第五報

最早盛夏の候で、さぞお暑い事と思います。その後バストスの皆様には御元気ですか。御伺い申上げます。私は九月三十日神戸に着いて以来親戚訪問や名所古蹟の観光、オリンピック見物等々寸暇もなかつた；と言つては少々大袈裟の様ですが實際に忙しくて手紙すら充分に書けなかつたりです。

オリンピックがすんで郷里に帰つたのが十月廿一日で、親戚知己の招待で一週間を郷里で過ごしたのみで、休養の暇もなく頼まれた要件を達し乍ら四国中國地方を観光して廻り、昨十二月六日、二十九日の要件を滞りなく果して歸郷、肩の荷が降り安心したので、是れから週報へ弥次甚多道中ならぬ今浦島の勝栗毛を掲載致します、拙文で興味はないでしようが暇つぶしに御笑覧下さい。

九月二十九日の朝、八丈島が見え気温は下がり涼しくなつた。此の島には八丈富士と称する美しい山があり、緑に覆われた美しい島ではあるが、人家も疎うで港らしい所もなく、實に淋しそうな孤島である。昔の流罪の人達の子孫が住んでゐるのか知らぬが、この様な淋しい離島で一生を暮す人々は誠に氣の毒な様な気がしてならない。

三十日の午前五時甲板に出て見ると紀淡海峡を通過して居るらしく、西岸にちらほら灯が見え、遙か左手には燈台の灯がくるくる廻つて居る。もう神戸も間近であろうが、寒いので船室に炭火、上陸の準備にとりかかる。八時すぎ憧れの神戸港外に到着したが、突堤がふさがつているので突堤の開くまで港外で待つことになつた。全員甲板に出て神戸の町や山を懐かしそうに眺めて居る。三十二年前名残りを惜んだあの六甲山や摩耶山が今までの前に聳え立つて居る。なんと懐かしいことだろ、ああ自分は又祖国に帰つて来たのだ。再び踏む事はないだろうと思つた祖国の土が又踏めるのである。なんど嬉しい事よ、と胸は高鳴り、血の踊る。回顧すれば今を去る三十二年前、昭和八年三月廿八日、この神戸の港を後にした時は大きな夢と希望に燃えていたとは云え、親兄弟親戚知己と別れ四十全年間生活して未だ生國を去るあの時の悲愴な気持は今も尚忘れ得ない。あの時見送つてくれた人々との間に取り交わされたテープの切れたあの瞬間の言い知れぬ淋しさに哀しさ、互に見合はず涙で濡れた

去る十一月十五日、家族等と自家用車を馳ってオズワルド・ラルスへ参る途中同市入口の踏切に於て折柄轟道中の下り列車にはねられるという事故を起してしまいました。しかし何という幸運でありましたようか。二人の子供とインフレガー外は擦過傷程度ですみ、家内と私は車外に投げ出されました。が家内は打撲傷、私は左上搏骨折、左眼下骨にヒビが入り、比較的重傷でしたが生命の方は助かりました。

事故現場より直ちにオウルス病院に入院二日間平当を受けたのち、ツバーンのサンヌカーザに移り、ここで二週間半当を助けた処、僅々二週間で退院といふ詰スピードで快方に向ひましたので自宅に帰り、静養中でございます。一寸としたはすみから事故など起り、試に申狀なく存じて居ります。友人知己の方々は、遠くサンパウロ、バラナ方面からも御見舞を受け、又入院中は多數皆様から御厚い御見舞に接し、何と御礼申上げてよいか、誠に御芳情の段感謝に堪えませぬ。

近日中、左腕のギブスも取りはずす間に回復いたしましたので今暫く自重し一月中頃より診療に着手出来る予定でございます。

名位

あはあきまが、なくなられた時、学生会は花輪をそなえましたところ、何かのたとえにするようにとお金を下さいました。ありがとうございました。おそれくなりましてがお礼を申上ひます。

金川悟
一

金三千クルゼーロス也
久ロリア尼区会館より
部として寄付されまし
十一月廿二日
久ロリア

山中勝樹様

正

